

町のごみ出し基本ルール

- 一、ごみは町指定のごみ袋に入れて出す
- 一、ごみ袋には必ず区名・名前を書く
- 一、ごみ袋は当日の午前8時までに出す
- 一、決められた日に、決められた品目を出す
- 一、ごみ袋の口は結んで出す
- 一、黒いビニール袋に入れて出さない

※分別など分からないときは、役場住民環境課までお気軽にお尋ねください



ごみ収集は

出す人と集める人の共同作業です

役場住民環境課では、平成30年3月末、ごみ収集車に同行してごみ集積所の状況確認を行いました。多くの集積所では、ごみ出しルールが守られていたが、いくつかの集積所では、ルールに違反したものがありました。

私たちの家庭から出されるゴミの収集作業は、ごみを出す人と集める人の共同作業です。ルールを守ってごみ出しをしましょう。

Nagasaki SPECIAL

知ってますか？ごみのこと

ごみの減量化にご協力ください

町内で出されたごみの量
約4,100トン

町民ひとりあたりのごみの量
約256kg

ごみ処理にかかる費用
約1億6,204万円

町民ひとりあたり
約10,097円

※平成29年度の排出量および経費
※人口は平成30年3月31日現在(16,049人)

ペットボトルも分別が必要です

ペットボトルの【フタ】と【ラベル】は、プラスチックごみです。ペットボトル本体と分けて、必ず『燃えるごみ』に出してください。

「ごみ出しはルールを守って」

私たちの生活からは、毎日たくさんのごみが出ます。

ごみを分別するとき、「めんどろだな」、「自分だけだったら」、「少しだけならいいか」という気持ちでごみを出していませんか？

ごみの分け方、出し方について、町の『くらしのごみカレンダー』でお住まいの地域の収集日・収集品目などをよく確認の上、ルールを守って指定の集積場所に出してください。

分別の徹底には、住民の皆さんの協力が不可欠です。ごみの減量化・資源化にご協力をお願いします。

前年度比11.2%のごみ減少

平成29年度、町内で出されたごみの量は、前年度比で家庭ごみが48トンの減少、事業系ごみが64トンの減少と、町全体で11.2%のごみの減量化となりました。家庭系ごみについては、資源ごみ保管庫の活用による新聞、雑誌、段ボールなどの資源回収活動がごみの減少につながったと考えられます。また、事業系ごみについては、事業所を訪問しての啓発活動などがあげられます。

下記のごみ処理量の推移のとおり、近年の家庭系ごみ処理量は住民の皆さんのご協力により減少傾向にあります。また、事業系ごみも横這いで推移しています。

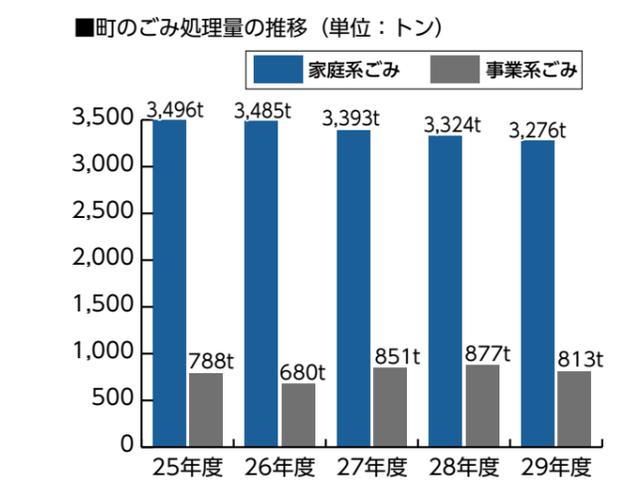
住民環境課 環境対策推進係
☎(78)3122

現場からのお願い

(株) 那須商会 土山さん

回収日当日、ある集積所で燃えるゴミの中にビンや乾電池が混入しているごみ袋がありました。このような混入物があれば、「違反ごみ」として、ピンクの警告シールを張って回収せず、出した人への再確認をお願いします。私たちが日頃から、回収漏れがないように、職員間で確認しながら回収作業を行っています。

ごみ袋への名前の書き忘れやちよつとした分別間違いなどがあるかもしれませんが、ルールが守られていないごみ袋の回収は出来ません。皆さんのご協力をよろしくお願いします。



「燃えるごみ」の減量化にご協力ください

「燃えるごみ」の中には、まだまだ資源ごみとしてリサイクルできる紙袋、菓子箱、紙の芯、チラシ、ポスターなどの「雑がみ」が多く混ざっています。

皆さんの日々の生活の中での小さな行動が、町全体でのごみの減量化につながります。

貴重な資源の有効利用、地球に優しい取り組みとして、ごみの減量化・資源化に取り組みましょう。